

2017.10.13.Fri-10.31.Tue www.diversity-in-the-arts.jp/moto

[会場] スパイラルガーデン(スパイラル1F)

[開館時間] 11:00-20:00* [入場料] 無料

[主催] 日本財団 [制作] 一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

*10月13日(金)は 18:00まで

[監修] NPO 法人 アーツインシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

会期中無休

at SPIRAL GARDEN (SPIRAL 1F)

11:00-20:00 / FREE ENTRANCE

*Open until 18:00 on 10.13.Fri

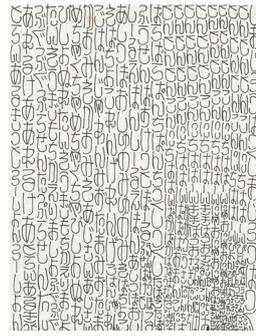
OPEN EVERYDAY



Koichi Yashima



Rikako Kawauchi



Chiharu Shimizu



Ryunosuke



Nao Matsunaga

Masataka Mizuuchi



Masaki Mori

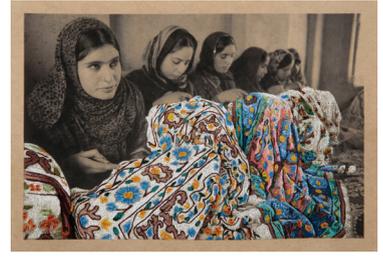


Sayaka Teraguchi

Museum of Together



Hideo Furutani



Satoru Aoyama

どんな人にもひらかれた、アクセシブルな美術館

アウトサイダーアートと現代アート、22の異世界をめぐるアート体験



Kazuko Komatsu



Mizunoki Archives



Christian Hidaka



Chiaki Shimizu



Emi



Yuki Fujioka



Masahiko Tsuchiya



Fumito Urabe



Kayo Horie



Peter McDonald



Nobuko Tsuchiya

[日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 企画展]

ミュージアム・オブ・トゥギャザー展



Yoshihiro Watanabe





キュレーターズメッセージ

「ミュージアム・オブ・トゥギャザー」展は、22の作家による作品と、資料や模型などのアーカイブから構成する期間限定の美術館です。この展覧会に参加している作家たちは、それぞれにまったく異なる環境で生活をし、一人ひとり異なる感情や考えのなかで制作を続けています。この多種多様な作家たちを結びつけているものは何かと言えば、「つくりたい」という欲求。身体の中からはどうしようもなくわき起こって、何かをつくらずにはいられないような、自我を超えた行為です。アートとは、絶望や快楽、孤独や欲望、そして変性意識状態など、つくり手の内面をただよう激しい感情のゆらぎのなかから生まれているのです。

そこで、この展覧会では、アートを心理的あるいは精神的に安定した状態を生み出し、その状態を維持するための能動的な道具であると捉えてみることにしました。これは、いわゆる“アウトサイダー・アート”や“アール・ブリュット”という言葉で括られる作家のことだけを言っているわけではありません。古来の宗教芸術から、近・現代までのあらゆるアート表現に共通して試みるのできる、はっきりとした輪郭を現すことのない「スピリチュアリティ（精神世界）」。それこそが、あらゆる芸術表現の根底に横たわっているものだと考えているのです。そして、この“道具としてのアート”は、作家だけに限ったものでもありません。作品を注意深く鑑賞していくと、さまざまな感覚や欲求が自分の内側から自然と生まれてくるという体験を得る人もいでしょう。この展覧会では、会場構成などいたるところに鑑賞者が能動的に展覧会に参加できる工夫をこらしました。

アートファンのみならず、こうした場に足を運ぶことを躊躇してしまう方たちにも鑑賞に来ていただける展覧会にするには、どんな新しいチャレンジが必要なのか。企画のはじまる段階から視覚障害のある方、聴覚障害のある方、車椅子の方など、当事者と意見交換をしながら議論を重ね、検証してきました。会場のデザインやアクセス・アート・プログラムなどを通して作り手の世界へと入り込み、より多くの鑑賞者の心のなかで作品同士が共鳴し、関係を結び合う。道具としてのアートの実験に、みなさんもぜひ参加してみてください。

ロジャー・マクドナルド / 塩見有子
NPO法人アーツインシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

関連プログラム

【アクセス・アート・プログラム】

アクセス・アート・プログラムは、あなたと、この展覧会に集まった作品たちをつなぎます。展覧会という場で、作品を通してさまざまな人と出会い、誰もが自由に気軽に、感じた何かを表現する。すべての人が、アートにアクセスするためのプログラムです。

- ・聞こえない人とつくる「対話」をテーマにしたワークショップ
10月14日(土) 14:00-16:00
10月27日(金) 18:00-20:00
- ・視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ
10月15日(日) 14:00-16:00
10月18日(水) 18:00-20:00

【関連フォーラム】

本展について、展覧会チームやスペシャルゲストがディスカッションを行います。

- ミュージアム・オブ・トゥギャザー・フォーラム
[日時] 2017年10月22日(日) 14:00-18:00 (13:30開場)
[会場] スパイラルホール(スパイラル3F)
[定員] 170名(自由席)
[入場料] 無料
[情報保障] 手話通訳、文字通訳有り

【フードプログラム】

会期中スパイラルカフェ(スパイラル1F)にて本展の特別フードメニューをお楽しみいただけます。メニュー構成は、料理を野村友里氏、菓子を長田佳子氏が担当。食べること、料理をすることを大切にされている視覚障害のある方との対話から生まれるさまざまなインスピレーションから、物語を紡ぐようにレシピを制作しています。

- ※各プログラムの詳細やお申し込み方法は公式ウェブサイト随時お知らせします。
- ※上記内容は予告なしに変更する場合があります。

アクセシビリティ

本展では多くの鑑賞者に開かれた展覧会を目指して、どなたでも楽しく、居心地よく過ごしていただけるよう体制を整えています。アクセシビリティを高めるため、スタッフが常駐する受付「ウェルカム・ポイント」や、照明を落とした静かに過ごせる部屋「クワイエット・ルーム」、音声を通して作品を知ることのできる「オーディオ・ディスクリプション」、より多くの方がアクセスできる会場デザインとして、階段部分には勾配を意識したスロープなど、さまざまにご用意しています。

会場へのアクセス



地下鉄表参道駅(銀座線・千代田線・半蔵門線) ■B1/B3(エレベーター有) 出口 Omote-sando Sta. (Ginza-line, Chiyoda-line, Hanzomon-line) B1/B3 Exit

会場：スパイラルガーデン(スパイラル1F)
所在地：〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23
TEL: 03-3498-1171

展覧会に関するお問い合わせ

ミュージアム・オブ・トゥギャザー展 事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-3
翔和内神田ビル7階
一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS IN
TEL: 03-5577-6750 / FAX: 03-5577-6628
MAIL: moto@diversity-in-the-arts.jp

[主催] 日本財団 [制作] 一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS [監修] NPO法人アーツインシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] [企画協力] スパイラル [会場協力] 株式会社ワコールアートセンター [キュレーター] ロジャー・マクドナルド、塩見有子 ([AIT/エイト]) [会場構成] アトリエ・ワン [展覧会グラフィック] 橋詰 宗 [エディトリアル] 石田エリ [ラーニング企画・運営] NPO法人 エイブル・アート・ジャパン [ラーニング協力] 視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ、美術と手話プロジェクト、森美術館 [展覧会特別フードメニュー] 野村友里 (eatpr)、長田佳子 (foodremedies) [ウェブ制作] 萩原俊矢、三浦早織 [リサーチ・キュレーターズ] 赤荻 徹 (アトリエ・エー)、大内 都 (アーツカウンシル新潟)、岡部薫芳 (はじまりの美術館)、岡部太郎 (たんぼの家)、奥山理子 (みずのき美術館)、千葉真利、津口在五 (隣の津ミュージアム)、松本志帆子 (森ミュージアム)、森岡晋行 (森岡書店)、山下完和 (やまなみ工房) [協力] MIZUMA ART GALLERY、社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房、GALLERY SIDE 2、WAITINGROOM、一般財団法人 たんぼの家、社会福祉法人わたぼうしの会、アトリエ・エー、SCAI THE BATHHOUSE、広島県立広島中央特別支援学校、株式会社愉快 studio COOCA、社会福祉法人大和会 大和高原太陽の家、社会福祉法人バレット会 バレットたつの、みずのき美術館、Bmapsプロジェクト (日本財団CANPANプロジェクト、株式会社ミライロ) (順不同)

[01] 青山 悟/Embroiderers (Dedicated to unknown Embroiderers) #7, Photography by MIYAJIMA Kei, ©AOYAMA Satoru, Courtesy of Mizuma Art Gallery [02] 土屋正彦/遠い国からの愛 [03] 土屋信子/Introduction Shuttle, ©Nobuko Tsuchiya, Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE [04] 森 雅樹/楽園 [05] みずのき絵画教室/タイトルなし (造形テスト課題7見本) [06] Emi/とり [07] 竜之介/たけのこ [08] ビーター・マクドナルド/Into the Cave [09] 古谷秀男/無題 [10] 堀江佳世/NHKセサミストリートアーニーとパートの魚つり [11] 水内正隆/アイテム [12] 八島孝一/かまきり [13] 松永 直/Cosmic Expressions, 2 [14] 川内理香子/Bodies, ©Rikako KAWAUCHI, Courtesy of WAITINGROOM [15] 渡邊義雄/折り紙の動物たち [16] 小松和子/かえるのともだち [17] 清水千秋/マツコ・テラックス [18] 清水ちはる/心のまにまに... [19] 寺口さやか/心臓模型・手の内在筋模型・肝臓脾臓模型 [20] 占部史人/Untitled, ©Fumito Urabe, Courtesy of Gallery SIDE 2 [21] 藤岡祐機/無題 [22] クリスチャン・ヒダカ/Untitled (harlequin with ribbon)

